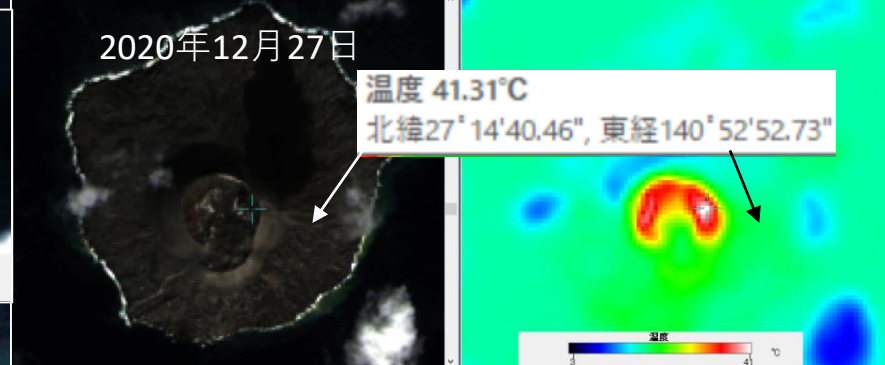
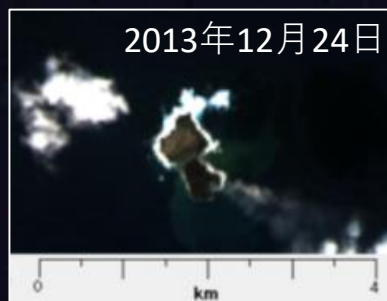


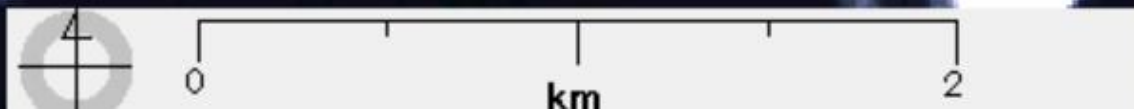
変化する西之島



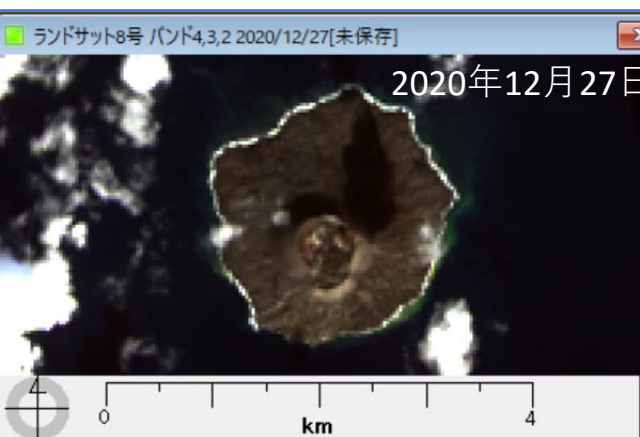
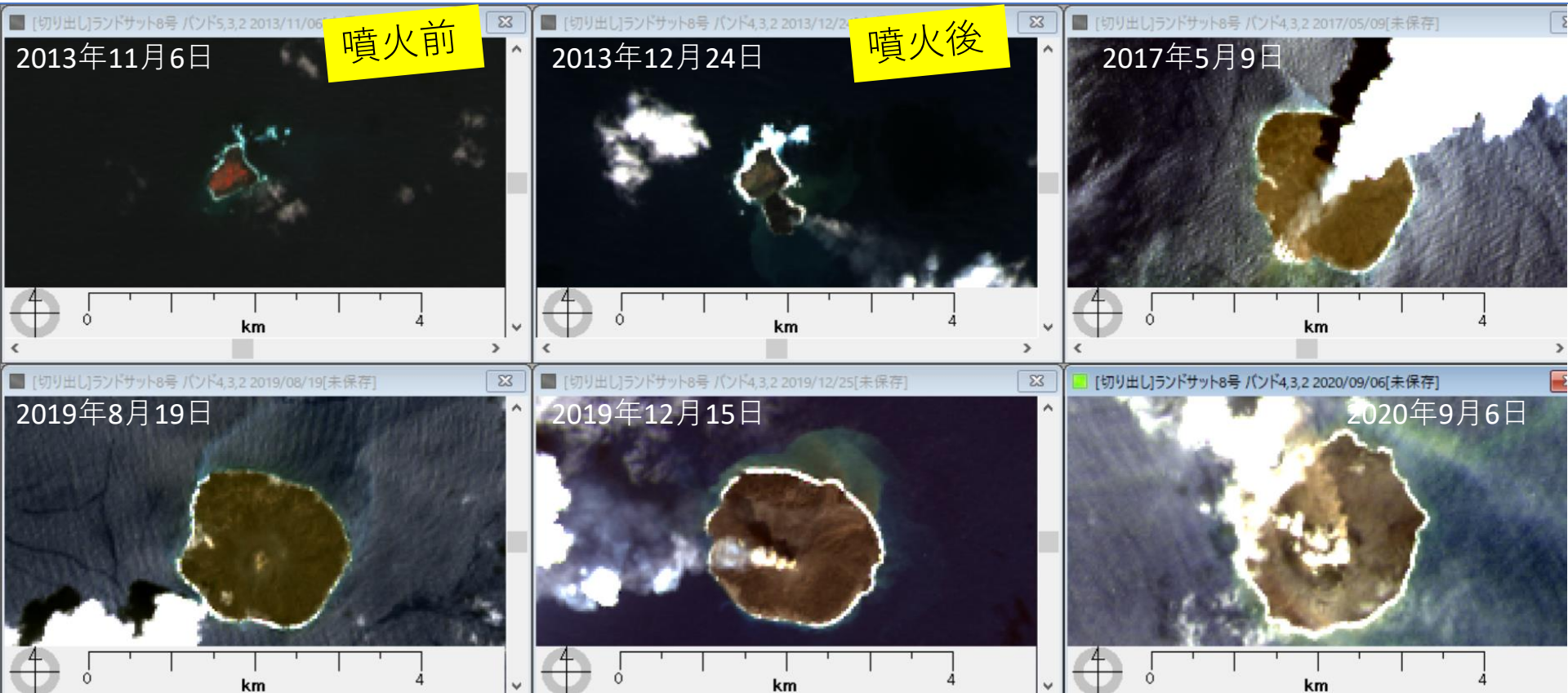
10月8日以来久しぶりに西之島をランドサット8が観測できました。島の形も変化していますが、火口付近は大きく変わりました。火口の北側の影は、火口付近の高さを示しています。

*画像はコレクション2レベル2という処理データをパンシャープンという処理をしました。上の画像は、コレクション1レベル1という処理です。

*1月16日午後YAC団員等向け衛星データ利用オンライン講座を予定しています。近々案内をお伝えします。



西之島7年間の変化



気象庁 西之島 噴火警報（火口周辺）の要点

令和2年12月18日14時00分

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

海上保安庁の上空からの観測や気象庁の海上からの観測によると、西之島では、2020年8月下旬以降、噴火は確認されていません。また、気象衛星ひまわりの観測でも、9月以降、噴煙は観測されていないほか、西之島付近で周囲に比べて地表面温度の高い領域は認められず、溶岩の流出も停止していると推定されます。

これらのことから、西之島の火山活動は低下しており、山頂火口から概ね2.5 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられます。

一方、2020年8月まで長期間噴火が繰り返し発生しており、現在でも山頂火口内及びその周辺で噴気や高温領域が確認されていることから、今後、噴火が再開する可能性があります。山頂火口から概ね1.5 kmの範囲では引き続き警戒が必要です。